

06・電車で痴女られセックスが夢ってバレて、百合乱暴立ちバックで容赦なく犯される

〈シチュエーション〉

本編05から数分後。9月3週目のある日、16時ごろ。

電車に乗り込んだ二人は、当分開かない側の扉の前に立ってセックスする。
愛撫く立ちバック。

SE1 電車内の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【最初からやや小さめの音量で流す】

【0—10秒ほど流して『うた』のセリフ】

【その後、ごく小さな音量でトラック終了まで流し続ける】

●【背後・左】 0センチ

■背後から左耳に話しかける。

乗車し、扉の前まで主人公を追いやって、逃げられない状態にして

「※1まで、ゆっくりと優しく。

優しいが、なんだか別人のように。

穏やかだが拒否権のない、強制的な雰囲気で」

……そこ。

立って？」

〈主人公〉

「えっ……この……扉の前？」

「そう。扉の前。外が見えていいでしょ？

立ったら……もう、何もしちや駄目。

好きにさせてくれるって言ったもんね？

何されてもいいって事だね？ ♡ ※1

【鼻で。ゆっくりと、だが興奮気味に主人公のおいをかぐ】

はあ……♡ すうっ……♡

はあっ……♡ すううっ……♡

はああ……♡

【甘ったるく、興奮気味に。『もう我慢できない』と言わんばかりに】

もうね……？

さつきからいい匂いさせ過ぎだよお……♡

期待し過ぎ♡

人の気も知らないで……♡」

● 【正面】 0センチ へ移動

■ 主人公が頭だけ振り向いて、うたも覗き込んだので、声が正面から聞こえるようになる
「甘ったるく訴える。」

淋しくはあったが気持ちはわかるので怒っていない。それが伝わる感じで」
昼休みだつてさ？ ほんととは一杯甘えたかったのに。

甘えさせて欲しかったのに♡

『今は会えない』なんて酷いよ……♡

今が一番甘えたいのに。君が必要なのに。

凄く淋しかったんだよ？♡」

〈主人公〉

「ごめんね……」

「酷い♥ ばか♥

ばかばかばか♥ 最低♥

ほんとに最低♥

【唇にねっとりキス】

ちゅ♥ れるるっ……♥ ちゅうつ♥

〈主人公〉

「うたちゃん、怒ってる……？♥」

■ 実際は怒っていないが、主人公を困らせたいので『怒っている』事にする

「【可愛くふてくされて】

……そうだよ？ ほんとに怒ってるよ？

だから、電車だけど触る」

● 【背後・左】 0センチ へ移動

■ 再び主人公に前を向かせて、制服のブラウス越しに胸を触る。

どんだんねっとりした、いやらしい触り方になっていく

「【ゆっくり、淡々と。先ほどまでの『ふてくされる』から自然に『穏やかだが有無を言わせないセクシーな雰囲気』に移行して、落差にドキツとさせる」

こうやって。逃げられないように後ろに立ってさ」

SE2 うたが主人公の身体をまさぐる音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【次の『うた』のセリフと重ねて流す】

【小さめの音量で流す】

【▲1 で一段階速度が速くなる】

【▲2 でフェードアウトする】

「ブラウス越しのおっぱい、むにゅ……って持ち上げて。

手え全部で下から包むようにして揉む……♡

こんな♡ えっちする時じやなきや絶対ダメな。

外で絶対やっちゃいけない揉み方する……♡

【※2に向かって、興奮がどんどん高まっていく。

呼吸が次第に荒くなり、声は甘ったるくセクシーになっていく】

はあ……はあ……はあ。

はあ、はあ。はあっ……♡

【低い声で、うっとりど興奮気味に】

あゝ……柔らか……♡ ふわふわ過ぎ……♡

一生揉んでられる……♡

君のおっぱいさあ……♡ 気持ち良すぎるから♡

はゝ……♡ やばい♡

いい匂いで♡ ふにふにで、気持ち良すぎる……♡

このお乳さ？ほんとだったら、もっと違う大きさだったかもしれないよね？

なのに、私のせいでこんな大きくなっちゃったよね……♡

私にあげるミルク作る為に♡

こんなえっちな身体になっちゃったんだよね……♡

こんな可愛くて恥ずかしいおっぱいで外歩いてんの、頭おかしい♡

はあっ……♡

自分がどれだけ魅力的かわかってる？

どんだけ言ってもわかってないよね♡

体育の時もさあ♡ ゆさゆささせてほんとエロい♡ ※2

〈主人公〉

「……見てたのっ……？♡」

■触りながら、主人公の、体育の授業中での様子を述べる。

また、自分は高位のサキユバスなので、認識阻害能力を行使すればいつでも好きな場所でセックスできるが、主人公のために我慢していた事を訴える

「【※3まで、開き直って、甘ったるく訴える。ちよっただけ怒って。

興奮はさらに高まり、引き続き呼吸は荒く、声は甘ったるくセクシー。

以後、トラック終了まで、この興奮状態は続く」

見てるよ？　好きな子だもん。見まくるに決まってるじゃん♡

……てか、意識しなくても目に入る。

君、女子校だからって油断しすぎだよ？

君が走ったり、ジャンプしたり、かがんだりする度に私むらむらしてさ？

『ここで犯したらい。今すぐ生ハメ中出ししたい♡

無遠慮（ぶえんりょ）中出ししたおまんこから透明のサキユバス汁が溢（こぼ）れて。

パンツもジャージも汚れまくったまま授業させたい♡』

って興奮して。

いつでもそれできるのに、ずっと我慢してたんだよ？♡

私、クイーンだから。

やろうとすれば、いくらでもバレずにエロくて悪い事できるのに♡

ちゃんと抑えてたんだよ？♡

なのにさあっ……♡」

▲1 ここでSE2の速度が一段階早くなる

「はあ……♡ はあ……♡ はあっ……♡

君はずっと憧れてたんだよね？ 外でエロい事されるの。

こんな勝手に感触楽しみたいな。

凄く最低な触り方で、むにゅむにゅって揉まれてるのにびくびく感じてさ？

おっぱい嬉しくなっちゃってるんでしょう……？

さっきから滅茶苦茶気持ち流れ込んで来てるから、わかるよ？

……変態。変態。変態♡

もしかして学校行く時もさあ。毎朝一緒に電車乗りながら

『うたちゃんにえっちな事して欲しい♡』って。

こんな風に

【擬音部分をいやらしく、かわいく誇張して。

擬音と連動して触っているイメージで】

『つんつん♡ つんつん♡ カリカリ♡ カリカリ♡

って、ブラウス越しの乳首セクハラされて。他の人もいるのに

とんとん♡　ぐりぐり♡　ぐりぐり♡

って乳首当てゲームしてほしく♡』

って思ってたの？♡　※3

【※4まで、低い声でちよっと呆れて。

優しくあまあま、かつ呆れた感じで興奮気味に言葉責めして、主人公を煽っていく】
……知ってたけどさあ。

そんなのはさあ♡　そんなのはただ妄想してるってだけで♡

まさか、ほんとにされて喜ぶなんて思ってもみなかったよ……♡

嬉しいの？　電車でおっぱい痴女られて」

▲2　ここでS E 2がフェードアウトする

S E 3　うたが主人公のブラウスを脱がせる音

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと重ねて流す】

【▲3　でフェードアウトする】

■　ブラウスのボタンを外していく

「こうやって……はあ、はああ、はあ。はー……♡
当たり前みたいにボタン外されて。

電車でブラ見せちやいそうになってるけど、いいの？♡

もしかして、もう、触ってもらうの待って乳首硬くしてるの？♡
ブラの下でフル勃起させてんの……？

はあ、はあ、はあ……。ちゅ♡

はーっ、はーっ、はああっ……。♡
」

▲3 ここでS E 3がフェードアウトする

■ブラジャーの上から胸を撫でて、すぐに乳首を見つける

「【高い声で嬉しそうに】

……あ♡

【低い声で興奮気味に】

ああ……。♡

【高い声で嬉しそうに】

やっぱ硬いじゃん……。♡ ブラ越しでもわかるよ？♡ ※4

〈主人公〉

「ちがあっ……♡」

「【※5まで、あまあまにからかう。さっきよりノリノリで、テンションが上がっていく】
違うの？ 勃起なんかしてない？

じゃあ、中に手え入れて確かめてみよっか。これ絶対硬いよ？♡
硬かったら、もっと悪戯しちゃうからね？♡

んっふ……♡

はあ……♡」

SE 4 うたが主人公のブラジャーの中に手を入れる音

【最初から最後まで流す】

【やや下の方で聞こえる】

■上からブラジャーの中に手を入れて、勃起した乳首を見つける。

『お風呂でしてあげた時』Ⅱ『お風呂で乳首を触ってあげた時』

「あ……すご……♡

今までで一番長くなってない？♡

……あ、それが勃起してるって事か……♡

めっちゃバキバキじゃん。お風呂でしてあげた時みたいになってるね？♡

乳首、血行良（い）い時にいじめるとバキバキになるもんね。

その時と同じ位ってやばくない？♡

根本（ねもと）からしてあげたらもっと伸びそう。

【低い声でくすくすと】
あくでも……硬さはまだよくわかんないかも……わかんないから、もっとくにくにしよ
つか。

はあ、はあ、はあ……♡

【高い声であまあまに。】

『え、絶対』を一息に。少し早口に】

え絶対いつもより硬いよね？♡ 硬い♡

〈主人公〉

「そんな……」

「【高い声であまあまに】
硬くないの？♡

じゃあ、もつとくりくりして確かめよっか。

ああ……やっぱ絶対硬いって♥

これ硬い♥ 絶対滅茶苦茶勃起してる♥」

〈主人公〉

「うたちゃ……♥」

●【正面】 0センチ へ移動

■主人公が頭だけ振り向いて、うたも覗き込んだので、声が正面から聞こえるようになる

「ん？ なあに、その顔♥

電車で乳首いじめされるの、そんな嬉しいの？♥」

●【背後・左】 0センチ へ移動

■再び主人公に前を向かせて、じかに乳首を愛撫していく
徹底的に感じさせるための、本気の触り方になっている

「電車は皆で使う所だよ？♥

なのに、電車の中でふりぶりの乳首こねられて。

君は嬉しくなっちゃうんだ。悪い子だね♥

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

あまあまに。特に擬音部分をいやらしく、かわいく誇張して。

擬音と連動して触っているイメージで”

だったらもつとしょ？

ほら。ぐりぐり、くにくに、こりこり、こりこり♥

電車で痴女に悪戯されて嬉しいね♥

大事な乳首を外でこねられて、たっぷり虐めてもらえて幸せだね……♥

【耳にキス】

ちゅ♥

■もっと主人公を興奮させるために、周りの乗客を使おうとする

※一呼吸あけてから※ 話す

てかさ、このまんまガラス越しで見て？♥

あそこに座ってるうちの……あつ、目え合った♥

あの、うちの学校の子もさあ……♥

今は認識阻害で、君と私が制服着て、ただ並んで立ってるようにしか見えてない。ただ、私達が視界に入ってるから、目が合った……ってただけだけど。

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

ひそひそと嬉しそうに、興奮気味に”

ほんとは君が電車でブラ晒して。

しかも中に手え突っ込まれて。

彼女に、ずくっとしつこく乳首の硬さチェックされてて♥

かったあい生（なま）の乳首いじめられて喜んでるって知ったら、どんな顔するのか
なあ……♥

想像するだけで、もっと勃っちゃう？♥

残念。可愛いとこ、見てもらいたかったね？♥

……あ、それとも、見てもらう？

こんな事されてるのに君の顔が蕩けまくって、はひゅはひゅエロい息漏らしてる所。見
てもらおっか？♥

君がしたいならいいよ♥ 何でもしてあげる。

あの子にだけ見てもらうえっちだってできるよ♥

■主人公が必死で首を振る

※少し間をあけてから※ 話す

【甘ったるく、からかうようにくすくすと】

……やあなの？

ダメなの？

わかった♥ わかった♥

わかったからもつと気持ちいいのしょう？♥

【耳にキス】

ちゅ♥ ※5

【優しいが低い声で、ちよつと意地悪に】

ホック自分で外して。おっぱい全部出して？」

〈主人公〉

「えっ……？♥」

●【正面】 0センチ へ移動

■主人公が頭だけ振り向いて、うたも覗き込んだので、声が正面から聞こえるようになる

「【とても優しく。それがまるで当然のように】

……ん？

認識阻害かけてるから平気でしょ？」

●【背後・左】 0センチ へ移動

「【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

ひそひそと嬉しそうに】

淫魔に犯され過ぎて、専用ミルクサーバーにされてるえっちなおっぱい出そう？♡
ね？」

〈主人公〉

「っ……♡」

■主人公がおとなしく従い、ブラジャーを外して胸を晒していく

「【※6まで、かなり興奮して。

あまあまにからかいっつ、さっきよりも声が低く、興奮が抑えられない感じで」
ふう、ふう、ふう。ふう、ふう、ふう……」

SE5 主人公のブラジャーのホックを外す音

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【小さな音量で流す】

「はあ、はあ。

はああ……♡

よくできました♡

電車でおっぱい全部出せたね♡

【低い声でくすぐすと】

あゝ……興奮しすぎてブラにミルク染みちやってんじゃん……♡

念願の電車えっちできるのが楽しみ過ぎて、おっぱい漏らしてたの？
ほんとに変態だね。

でもね？ 電車はね、おっぱい見せるとこじゃないんだよ？
なのに君はさ？ こんな風にさあ……。

■『強制ガラスオナニー』Ⅱ『電車の扉の窓ガラスに、乳首を擦り付けて気持ちよくなる事』

勝手におっぱい持ち上げられて、扉に生（なま）ぱい擦り付けられて、強制ガラスオナニーがしてみたいんだよね♡

電車えっちでする事って言ったら、これが定番だもんね♡
したいんですよ。やろうよ。せっかくだもん。ね？

■主人公の胸を持ち上げる

こうしてちやあんとしっかり持って。
いい高さになるよう支えててあげるからさ。

■そのまま有無を言わず、ガラスに乳首を擦り付け始める

【擬音部分をあまり強調せず、優しく言う。

擬音と連動して触っているイメージで】

自分ですりすり♡ すりすり♡ すりすり♡

って擦り付けて。

皆の電車汚しちゃう生乳首オナニーしようね♡

ほら♡

すりすり♡ すりすり♡ すりすり♡ すりすり♡

ひんやりして気持ちいいね♡

硬い乳首さん、もう痛い位ガチガチになっちゃうね♡

おっきくて恥ずかしいバッキバキのエロい乳首、もっとごしごししよう？

ごしごし……ごしごし……ごしごし……ごしごし……ごしごし……♡

いつも見る景色と一緒にオナニーするの気持ちいいね♡

※少し間をあけてから※ 話す

あ♡ しかもさあ……興奮しすぎてミルク垂れてきてない？

■ 噴射した母乳を、有無を言わず早速ガラスに塗り付けていく

じゃあ、ミルクローションガラスに塗って。

滑（すべ）り良（よ）くしてみよっか。

よし。これでもっと気持ちよくなれるね♡

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

擬音部分をあまり強調せず、優しく言う。擬音と連動して触っているイメージで】

すりすり……すりすり……すりすり……すりすり……



窓ガラスオナニー気持ちいいね



すりすり……すりすり……すりすり……すりすり……



ぬるぬるで気持ちいいね



※一呼吸あけてから※ 話す

……ねえ。電車で悪い事してるのに、こんなに気持ちよくていいの？

こんなにエロくて恥ずかしい事してるのに、それで感じちやっていいの？

最低だね



痴女は完全に君の方だよ】

※6

SE 6 うたが尻尾を動かす音1

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【▲4 でSE 7と切り替わる】

■こらえきれなくなつて、尻尾を動かし始める。

そのまま器用に動かして、下着を脱がし、挿入する

「はあっ……♡ はあっ……♡ はあっ……♡
はあっ……♡ はあっ……♡ はあっ……♡

【※7まで、甘ったるく。それが当たり前のように】

あゝ……もう私も我慢できないや……尻尾入れたあい。入れるね？♡」

▲4 ここでS E 6とS E 7が切り替わる

S E 7 うたが尻尾を動かす音2

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【終わり次第、S E 8と切り替わる】

S E 8 うたが尻尾を動かす音3

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

▲5 でS E 9と切り替わる】

「んっ……はあ、はあ、はああ。」

え？ 入れるよ？ だって無理やりされたいんでしょ？ ♡

おまんこに人権ない、乱暴なえっちがしたいんでしょ？ ※7

【青文字部分で挿入】

はああ……んっ…… ♡

はあ。ふー…… ♡

▲4 ここでSE8とSE9が切り替わる

SE9 うたが尻尾を挿入する音

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

「んっ……んんうっ…… ♡

あゝ……入ったあ……あったかあ ♡

ほら……君のしたかった、無理やりえっちだよ？♥

SE10 うたが尻尾を動かす音4

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【▲6 でフェードアウトする】

「ああ……超ぬるぬる……とろとろ感えぐ……♥

中（なか）もみちみちキスしてくるし……すっごいね……♥

気持ちいいよ。

本気で興奮すると、君のおまんこってこんなになっちゃうんだ……♥
すっごい熱くてひくひくしてて。

こんなのすぐ出ちゃうよ……♥

はあ……はあ……はあ……♥

はあっ……はあっ……はあっ……♥

【優しく、さらっと。それがかえって被虐心を煽る感じで】

……でもさあ。動きにくいからお尻突き出して手えついて？

電車えっちは、おっぱい外に見せながらの立ちバックが基本なんだよね？
それやろうよ♥

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

優しく有無を言わずに】

ちゃんと。おまんこ犯しやすいポーズして♥？」

▲6 ここでS E 9がフェードアウトする

●【背後・正面】 50センチ

■挿入したまま、主人公が従い、扉に手をついてお尻を突き出す

【※8まで、激しく前後に揺れている感じで。

かなり興奮して。ものすごく気持ちよさそうに。低い声でセクシーに。

優しいが有無を言わず、自分の欲望を優先して行動する『サキユバスらしい』状態になる】

ふう、ふう、ふうっ……」

S E 11 うたが深く尻尾を挿入する音

【最初から最後まで流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

「ふう、はあ……ふふふふっ ♡

ちゃんとできて偉いね…… ♡

あゝ気持ちいいよ。ほんとに……偉い ♡
これで一杯、酷くしてあげられるね ♡」

SE 12 うたが尻尾を動かす音5

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【▲7 で一段階音量が大きくなる】

【▲8 でSE 13と切り替わる】

■立ちバックの体位で、本格的に動かし始める

「んっ ♡

【特に気持ちよさそうに】

あああ……♡

はあ、はあ、はあ。

はーっ。はーっ。はああっ♡

はあ、はあ、はあ。

はあっ、はあっ、はあっ♡」

▲7 ここでSE12の音量が一段階大きくなる

「……あく……おまんこ気持ちいい。

おっぱいもすっごい揺れてるね♡

大事なおっぱいなのに。こんなに激しく揺らしちゃダメなのにね♡

でもぶるんぶるん♡ ぶるんぶるん♡

つてさせられるのが、君は良（い）いんだよね。

乱暴にされればされる程、興奮しちゃうんだもんねっ……♡

はあ、はあ、はあ。

はああ、はああ、はああっ……♡

あゝめっ……ちや締まる……♡

中であうねって凄いよ……♡

何（なん）か♥ 隙間なくみつつ……ちり包み込んでくる感じ♥
凄いねえ♥

私にハメてもらおう為にあるみたいなおまんこだねえ♥」

▲8 ここでSE12とSE13が切り替わる

SE13 うたが尻尾を動かす音6

【途中から最後まで流し、534行目の『絶頂ポイント』とタイミングを合わせる（1分50〜55秒ほどから流す）

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【▲9 で音量が大きくなる】

【▲10 で一段階音量が大きくなる】

【▲11 でフェードアウトする】

【「気持ちよすぎて、少し苦しそうに」
擬音と連動して触っているイメージで】

ほ、ら♥

ぐりぐりっ……♡　ぐりぐりっ……っ♡
ってしてあげる♡

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ♡

あ……気持ちいい。

何（なん）かすっ、ごい……入ってるとこ全部をぬっぽりしやぶってもらってるみたい
な感じ……♡

君のおまんこ、パコられるの上手だね♡

サキュバスの尻尾におねだりして。ぴゅっぴゅでできるように甘えるの上手いね♡
ああ……ひだひだの絡みつきやばすぎ……。

とりあえず一回出させようって、ムキになって扱（しご）いてきてる感じ……♡」

▲9　ここでSE13の音量が一段階大きくなる

「はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ……♡

ねえ。こんなんされて頑張れるの、絶対私位（わたしくらい）だよ？

君の事誰よりも好きな♡　私位（わたしくらい）だよっ？♡

好きだよ。好き。好き好き好き。

はああ、はあ。はあっ。

はあ。はあ。はあっ……♡

■主人公の腰が無意識に逃げているのを捕まえて、さらに激しくセックスする

【あまあまに叱る。全く怒ってはいない】

もお♡ 腰逃げんな♡ ちゃんと尻尾しやぶって♡

気持ちよすぎるからって逃げちゃだめ♡

ちゃんと私に犯されて。ちゃんと私の事感じて♡

ほく、らっ♡ 頑張っ♡

ここ、好きでしょっ……？」 ※8

▲10 ここでSE13の音量がさらにもう一段階大きくなる

「【※9まで、セックスのラストスパート。

余裕なく、ものすごく気持ちよさそうに。青文字部分で二人とも絶頂する】

んんう……♡

んっ♡

んんう……♡

あゝ……出るっ……♡

もうっ♡ 無理♡

あゝ出るあゝ出るあゝ出るっ……♡

お望み通り。一回びゅーしてサキユバス汁たっぷり飲ませてあげるね……っ♡

んっ♡

んっ♡

はあ。

はあっ、はあっ、はあっ。

はあ、はあ。あああっ……♡

んうっ……♡

んんんうううっ……♡」

※9

▲11 ここでSE13がフェードアウトする

SE14 うたが尻尾を動かす音6

【最初から流す】

【次の『うた』のセリフと同時に流す】

【少し大きめの音量で流す】

【▲12 でフェードアウトする】

●【背後・正面】 50センチ 〴〵 【背後・左】 0センチ へ移動

ぐいっと、押し付けるように一気に近づく

■挿入したまま、主人公を扉に押し付けるようにして一気に近づいて、左耳に話しかける

「【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。】

苦しそうだが満足げに、くすくす嬉しそうに。

セリフと同時に、注ぎ込んでいるイメージで」

びゅーっ♡ びゅーっ♡ びゅーっ♡

びゅうう。びゅうう。びゅーっ……♡

びゅっ♡ びゅっ♡ びゅうううう……♡」

▲12 ここでSE14がフェードアウトする

「んっ♡

【苦しそうな吐息交じりに、うつとりと嬉しそうに。

呼吸は『非常に苦しそうだが気持ちよさそう』から、だんだん落ち着いていく】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ。

はああ、はああ。はーっ……♡

はあああ……めっ……ちや出たあ……気持ち良かったね♡

立ちバツク一杯感じちやったね♡

犯されおまんこ一杯幸せになれたね♡

※少し間を開けてから※ 話す

【※無声音で※ 赤文字部分をささやく。

苦しそうだが満足げに、くすくす嬉しそうに】

……でもまだだよ？ まくだ♡

まだやめないから。

……次はこっち」

●【正面】 15センチ へ移動

■主人公を振り向かせて話す

「【ゆっくりと優しく。

穏やかだが拒否権のない、強制的な雰囲気で】

こっち向いて、しようね……♡」

ここでフェードアウトして終了。